

ニッポンハム食の未来財団 平成 29 年度第二期 団体活動支援助成 完了報告書

企画活動名	ふくおか・食物アレルギー研究会のホームページ開設による情報提供
フリガナ	アベ タイスケ
申請者（代表者）氏名	安部 泰佑
団体名（正式名称）	団体名 :ふくおか・食物アレルギー研究会 役職・肩書など: 事務局長

1. 活動結果要約

食物アレルギーの正確な情報を広く常に発信する目的で ふくおか・食物アレルギー研究会のホームページを開設し 今後継続して行える食物アレルギーに関する情報発信基地ができあがった。

内容は、昨年おこなった 2 回の講演会のトピックスと監修をお願いした柴田瑠美子医師開設の食物アレルギーに関する基礎情報、災害時のアレルギー児対応情報の発信をはじめることができた。

また、相談室をつくり 服薬や症状に関する質問以外の相談についてメールで問い合わせできるシステム、今後それらをシェアできるシステムが構築できた。

さらに 当初計画では無かったが、福岡市立小学校給食における食物アレルギーチェックアプリ（スマイル給食リンクシステム）の開発を行い 食物アレルギーを持つおこさんおよび保護者に対して有効に活用していただけるサイトができた。

2. 活動目的

- 1) ホームページを開設することで、常に情報を取得できる状態にしておくことで、アレルギー児をお持ちの保護者や園/学校関係者が、いつでもその情報を閲覧して情報を仕入れることができる状態にする。
- 2) アレルギーについてどこで何をしたらよいかわからない方々もいるため、それらの方々の窓口となり適宜対応できるようにする。
- 3) 災害時のアレルギー対応についても、当該ホームページを閲覧すればどこで何ができるのかわかる状態にする。

3. 活動方法

【当初の計画通りできた内容】

- ・平成 30 年 3 月までに研究会ホームページを開設済み

<http://allergyfood-fukuoka.net/>

- 1) 平成 29 年 3 月と 10 月開催のふくおか食物アレルギー攻略法講座のトピックスを掲載。その後も継続してトピックスの掲載を行う
- 2) 柴田瑠美子医師監修の「食物アレルギーの基礎情報」掲載
- 3) 保護者、園/学校関係者からのご相談受付（服薬、症状対応相談以外）
- 4) 災害時の食物アレルギー児の対応掲載
- 5) 食物アレルギーのひやりはっと事例掲載
- 6) 教育委員会等への陳情の成果報告（患者会との協働）

【計画通りにできなかった内容】

ホームページ内容として、

- 1) ふくおか食物アレルギー攻略法講座で行った、アレルギー対応食レシピを公開する
→担当の管理栄養士多忙のためディレイ
- 2) 患者会活動の広報（例えば入園、入学前の給食等対応の相談会等）

→18年3月までに実施できなかったが、相談会自体は患者会と協働で企画中

【計画から外れて実施した内容】

- ・スマイル給食リンクシステム（福岡市立小学校給食における食物アレルギーチェックアプリ）の開発を行い研究会ホームページ内に掲載できた
- 4月中にリリース開始の計画

4. 結果及び波及効果

1. ホームページ開設により、食物アレルギーの情報発信基地ができあがった。これにより、常に情報を取得できる状態にしておくことで、アレルギー児をお持ちの保護者や園/学校関係者が、いつでもその情報を閲覧して情報を仕入れることができる状態にできた。

また、相談室を設けていることにより、保護者や園/学校関係者が服薬や症状以外のお困りのことを相談できる受け皿を作ることができた。

今後は、広くこのホームページの存在を知ってもらい利用いただけるようにする。
2. アレルギーについてどこで何をしたらよいかわからない方々もいるため当該ホームページを見せらうと食物アレルギーの基本から記してあり、理解いただけるソフトが用意できた。
3. 災害時のアレルギー対応についても当該ホームページを閲覧すればどこで何ができるのかわかる状態にできた。

*波及効果については、まだホームページを立ち上げたばかりで会員は多くはないが、案内した患者会のメンバーから「最新の情報をここに来れば見ることができるのが良い」「相談室があるので普通外来で時間なくなかなか聞けないことが相談できて良い」「柴田瑠美子先生が監修された情報なので安心して受け入れられる」などの前向きな意見をいただいております、情報発信と受け皿が必要であったニーズに対し貢献できていると考える。

5. 今後の活動について

【今後の課題】

今回お陰様で啓発できる発信基地ができたため、それがあつことを広く知ってもらふことが重要であるとする。

この3月までは、ホームページ作成までしかできず広報活動まで及ばなかつたため今後患者会を中心に講演会やマスコミ等で啓発をしていくことが課題。

【期待できる波及効果】

初めて食物アレルギーと診断された保護者の方々は大変不安に思っていることと考えられそれらの方々の不安や疑問を取り除くことができると考える。

インターネットで情報が氾濫しているが、当ホームページにあれば食物アレルギーに関し正確な最新の情報が記されているというように認識していただければストレスをなくすることができる。

【終了後の活動計画】

1. 広く当ホームページの存在を知ってもらうための広報活動
2. 当会の世話人にアレルギー専門医に入っただき、情報/相談回答を充実させる
3. 個人/法人の有料会員を募りホームページを含む会の運営をスムーズに行えるようにする
4. 毎年新しく食物アレルギーと診断されるお子さんがおり、また毎年新しく園のスタッフが加わってそれらお子さんの対応に携わることになるため、患者/保護者、園学校スタッフへの講演会/相談会などの啓発活動の継続が必要と考える

以上